

こころネットワーク だより

87号

2025年
秋号

議会を身近に わかりやすく

住み良いまちは みんなで作る

秋の深まりとともに、朝夕の冷え込みが身にしみる季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。実りの秋を経て、慌ただしい年の瀬へと一年を振り返りながら12月邸例外のご報告をいたします。物価高や社会情勢の変化が続く中、不安の声も多く伺いますが、足元の暮らしを守るため、お役に立ちたいと願う年の瀬です。良いお年をお迎えください。



11月臨時議会定では

改選まで一年となり臨時議会開催。

11月に開催された臨時議会では藤重副議長が辞任され新しく山本辰哉議員が副議長に、監査に矢野匡亮議員、各常任委員会の正副議長などもそれぞれ決まりました。

一人会派の姫野には4年間一度も委員長副委員長のお役は来ませんでしたが、最後の一年も教育民生常任委員会の一委員として、しっかり発言し一生懸命に努力してまいります。

12月の一般質問

今回も気になる市政の課題を質問！

1 観光行政について

(1) 快適な滞在施策と情報発信について
長年気になっていたトイレ環境やロープウェイの利用の改善点を提言しました。

2 移住施策について

(1) 居住後の住居の無償譲渡について
(2) 移住プログラムの充実について
旧・本郷村時代の20年間お住まいになれば無償譲渡されたが今後も事業を検討しては。

3 包括的な子育てと福祉施策について

(1) 縦割り行政を超えた連携について
育てにくさへの寄り添い、相談しやすい体制や外出時の課題について提言しました。

4 パブリックコメントについて

(1) 活用の実績と課題について
市の大きな計画作成時、市民の皆様からのご意見を聞く制度をいかに知っていただき、参加し意見を反映するか尋ねました。

秋の行事に参加しました

自然豊かな岩国の各地の秋祭り！

秋は各地で行事が続き、地域の息づかいを肌で感じる季節です。合併前から大切に受け継がれてきた催しにも毎年足を運び、美和のサンチャろう祭り、本郷のふるさと祭り、周東の食肉フェスタ、玖珂町の鞍掛城祭りなどに伺いまして多くの皆さまとお会いすることがで交流させていただきました。

神楽や太鼓などの音楽の響き、さまざまなブースの地域の味覚や楽しみも共有できました。生涯学習の作品展もすばらしく、世代を超えた笑顔が広がっていました。こうした場での学びの披露やつながりが地域の誇りを再確認する大切な機会だと実感しています。

一方で、車を持たない方に町々でのイベントを楽しんでいただきたく、一体感ある合併後の岩国市としてもっと移動手段が整えば、さらに多くの方々が交流、参加し楽しめるのではないかと思います。

今年是由宇、美川、錦の行事には都合で伺えず残念でしたが、来年はぜひお訪ねたいと思います。

これからも皆さまとの触れ合いを大切に、地域のお声や課題を実感し、議会での発言に活かしてまいります。



こころネットワーク

だより

89号

2026年

春号

議会を身近に わかりやすく

住み良いまちは みんなで作る

初夏を思わせる暑い日など季節はあっという間に夏へ。次の議会が近づきました。今年も猛暑が予想され、岩国市省エネ家電買換え促進補助金もほぼ満額に。日々大変な事件や社会問題が次々と起こり、国際情勢も大変厳しい昨今です。任期も残り少なくなりましたが、自分なりに頑張っています。



3月定例会を終えて

新年度の予算や議員定数について



3月定例会は、2月24日から3月23日までの28日間開催され、4月からの新年度予算などを審議しました。

令和8年度一般会計予算など63件を審議し、一般会計当初予算は791億5千万円。主な事業として、岩国市出身の作家・宇野千代さんをモデルにした朝ドラ放送に合わせた観光PR・周遊促進事業や、岩国学校教育資料館での企画展開催予算が計上されました。また黒磯に整備された「いこいと学びの交流テラス」の管理運営費として約2億2,976万円、新博物館整備と徴古館改修を進める博物館整備事業として約13億3,326万円が盛り込まれています。補聴器購入費助成事業は、利用対象を18歳以上64歳以下の軽度・中等度難聴者までに拡大（上限3万円の助成）。指定管理10件の議案などが各委員会へ付託されました。

一般質問は18人の議員が三日間登壇。

その後、付託された各常任委員会審査を経て最終日には初日即決議案を除く59件を採決。58件を可決。**議員定数削減議案**については賛否が分かれ採決の結果、否決となり閉会しました。

☆最終日、議員提出議案の議員定数削減の採決時には反対討論を行いました。

選挙前に定数削減すると、現職は知名度があっても新人には「狭き門」に感じて、女性や組織的支援のない方々が立候補をためらって諦めてしまうことにもつながりかねません。

「定数を減らすことは正しく、反対は悪いことだ」ではなく、改選一年前までに広くご意見を伺い「**誰がなくても同じ、議会などいない**」と感じている方にこそ、ぜひ議員に立候補して自らの言葉で声を届けていただきたいと願っています。

3月定例会の質問より

通院への配慮やDXの活用など



市立美和病院は錦町からの通院に不便で地域医療の充実、介護人材確保や潜在ケアマネの活用、補聴器購入助成の評価、公共施設トイレ整備、宇野千代を生かした観光振興、錦帯橋料金等の改定の課題、DXを活用した保育に関わる安心安全対策、認知症徘徊者発見へのQRコードの活用などを取り上げました。

議会ホームページの下方、情報公開にあるユーチューブ（YouTube）にてご覧ください。議会だよりSee議会のQRコードからもご覧いただけますが、できれば4年に一度は議会傍聴もいかがでしょうか？

姫野の3月定例会の質問は

左のQRコードをスマホのカメラでかざして読み取ったリンクから視聴できます。議会を身近に感じていただけますと幸いです。

3月定例会
Youtube動画



6月定例会のご案内

6月5日（金）から開催されます。

一般質問は16、17、18日

常任委員会22、23日

6月26日に閉会の予定です。

ぜひ傍聴にお越しください。

ご意見もお願いいたします。



女性活躍を目指して

女性活躍セミナーを開催しました

やまぐち「女性活躍」ミーティング ～みんなで変える、みんなが変わる～

山口きらめき財団の男女共同参画ブラッシュアップ助成金事業を活用し企画。8月から月一回、連続三回の講座を実施しました。主催はACTION★NEXT STAGE（アンズ、旧北京JAC山口）です。

一回目は周南市出身のジャーナリスト浜田敬子さんをお迎えしての講演。また県内2企業から女性活躍支援事業の取り組みを発表していただきました。S銀行では、夫の転勤時に、妻が転勤先地域の銀行連携会社で働き続けられる取り組みや出産毎の支援金も3人目以降はなんと100万円/人。

またMスーパーでは育休などへの配慮や意欲のある女性の正規職員へ登用するなどのしっかり要望を聞き反映する取り組みなど紹介されました。

二回目には、山口県の事業を伺った後、3人の女性起業家が事例発表。起業に至る経緯や会社のコンセプト、女性にとって働きやすい環境作り、女性ならではの視点で、事業の拡充の工夫などの情報共有ができました。

三回目では、これまでの講座を通じて感じた、現状の課題や対策などをグループで話し合い、結果をまとめて県などにも報告していきます。

◎できれば来年以降も実施したいと思っていますので、ぜひご参加ください！

次回は 姫野事務所にて

11/2(日)

14時からです

お気軽にお越しください

議会報告会



9月定例会のご報告と12月定例会へ向けてのご提言など皆様との情報交換の茶話会です。

ご参加をお待ちしております。

姫野敦子とこころネットワーク事務所

〒741-0082 岩国市川西3丁目3-54

✉ nishikigawa@gmail.com 🌐 <https://himenoatsuko.com/>

☎ 0827-41-1320 (FAX兼)



視察を通じて

市から出てみて、改めて考える事

5月は教育民生常任委員会
6月は消防議会、
7月は中山間地域振興施策調査特別委員会
の研修視察にそれぞれ参加しました。

中山間の視察の様子をご報告いたします。

7月29日朝7時の新幹線にて大阪府松原市を訪問。市内の町会（岩国市で言う自治会）加入率を上げるためポイント制の導入やアプリを使った情報提供などの取り組み。若い方は町会に入らず関心もなく、高齢化によりお役をさせていただいた方々も年々お辞めになるなどの（岩国も同様ですが）地域を支える方々の課題が多い。5～10年後を見据えての施策を実施。町会費と相殺となるポイント制の導入や地域を支えていただく協力体験などの工夫を伺いました。

30日は名古屋へ移動し、豊田市と四日市市で自治会支援や自治会条例の取組を視察。若者への啓発やリスク対策など、示唆に富む内容で岩国市でも条例化への検討も必要と感じました。

31日は滋賀県米原市へ。
新幹線駅近の市役所はアクセスが良く、中高生が市役所内の涼しいスペースをしっかりと利用しているのに感心しました。自治会へDX化を進めることで市民の負担軽減する取組などを学ばせていただきました。

●視察を参考に質問にも活かしてしています。

★ご関心のある方は資料などもご覧ください。

あ と が き

紙面をリニューアルしてみました。

読みやすさはいかがでしょう？

世界的な異常気象が被害が相次いでいます。
また世界的な戦闘状態に心を痛める毎日です。
平和は誰かが与えてくれるものではない事を改めて痛感した戦後80年目の夏でした。
皆様からのご意見が私の力になりますので、小さなことでもお気軽にご連絡ください。

